

特集

岡本健 大学学長インタビュー

〈岡本学長からのメッセージ〉

卒業生座談会

思い出のキャンパスライフ

企画特集

中部学院で夢育て！

3月22日(金)

卒業式挙行(岐阜市、長良川国際会議場)





# 2012年度(後期) EVENT CALENDAR



①②合唱ミュージカルやパフォーマンス、音楽などを通じて、自己を最大限に表現する学生＝プロムナードコンサートより ③④多くの学生が参加して盛り上がった「たのしみん祭」と「大学祭」＝関キャンパス ⑤⑥学生が自主的にイベントや出店を企画した学びの森フェスティバル＝学びの森 ⑦⑧⑨イルミネーションや礼拝などでクリスマスを祝ったクリスマス礼拝・祝会＝関キャンパス ⑩今年度初めて行われた愛読書の魅力を伝え合う「ビブリオバトル」＝各務原キャンパス ⑪介護の日を呼びかける学生＝JR岐阜駅



中部学院大学報  
2013  
vol. 29  
2013年3月発行

Chubu Gakuin  
University & College News  
CONTENTS  
〈発行：大学報編集委員会〉

表紙／子育てボランティアをキャンパス内で体感する学生ら＝各務原キャンパス 子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」

## 特集 岡本 健 大学学長インタビュー

04 ～岡本学長からのメッセージ～

06 恩師からのメッセージ

08 卒業生座談会

10 中部学院で夢育て！  
大 学 初年次教育の充実  
短期大学部 「人間が育つ」キャンパス

12 部・クラブ・サークル紹介  
〈ピックアップ〉ラ・ルーラファクトリー  
学長賞、同窓会長賞など受賞者一覧

14 トピックス  
介護の日で学生が啓発活動(人間福祉学部、短期大学部社会福祉学科)ほか

15 講演会  
リハビリテーション学部市民公開講座開催ほか  
大学の新学長に古田善伯氏

## 特集

### 学長インタビュー

# 岡本 健

## 大学学長

福祉はすべての人に当てはまる

16年間の中部学院大学の変遷を振り返って、いかがですか

かつて福祉は高齢者福祉や障がい者福祉と呼ばれるように、限定的に捉えられてきましたが、本来、福祉とは、人が生まれてから死ぬまで必要なものです。16年前、大学を開設するにあたり、学部名を「人間福祉」としたのは、それらの考えを基本とし、地域と連携しながら住みよい社会、人間らしい暮らしを築いていくために必要な優秀な人材を育成したいという思いが込められています。そこで、さらに人間福祉学を研究する基盤として大学院を設置しました。また、その研究成果を発表する場を設けるために人間福祉学会を創設しました。同時に、種々の年齢層、専門性を持った担い手の専門教育の場として通信教育を併設し、福祉人材の養成に力を入れてきました。また、人間福祉の専門領

域を広げるため、リハビリテーション学部は理学療法を、医療領域に加えて高齢者をはじめとした福祉領域に取り込みました。そして、子ども学部は教育と福祉を両軸とし、子育てや保育などを総合的に捉える人材養成を行うとともに、経営学部を設け、福祉経営を意識した専門教育を実践してきました。福祉に関する優秀な人材が育成されることを期待しています。

## ■退任記念講演会 3月7日 関キャンパス



退任記念講演会で人生を振り返る岡本健学長  
=関キャンパス

岡本健大学学長の退任を記念した講演会が3月7日、関キャンパスで開かれ、教職員ら約150人が「最終講義」に耳を傾けました。

岡本学長は、少年時代を過ごした戦前、戦中、戦後の時代背景に触れながら、本学の学長になるまでの半生を振り返りました。講演では、医師になるまでのエピソードに触れ、「戦後は料理や裁縫など何でもやらなければならない、医者になって手術で役に立った」「大学の恩師に『耳鼻科医に向いている顔をしているから』と言われて耳鼻科医になった」など、ユーモアを交えながら紹介しました。

一方、人間福祉の学問を立ち上げたことについて、「時間は過去から未来へ向かっての一方方向で確実に進みます。現在は未来から見た過去であると同時に、現在の私たちが未来に影響を与えます。未来を考えることこそ、『人間福祉』の重要課題」と語りました。また、技術革新が進む中で、日本の将来を担う人材について、「ロボットではできない、人間でなければできない福祉関連の業種が重要になります。人間を相手にする仕事をする人、学問や芸術など創造性を必要とする仕事をする人、新しい知恵の世界を開拓できる人がこれからの将来に重要な役割を果たします」と話し、「人のこころの問題がこれからの教育の重要なテーマ」と強調しました。最後に、これからの高齢社会に対して「人生100年は夢ではありません。老化に伴う不安をどうして解決するか、そしていかに人生を楽しむかが大切」とメッセージを伝えました。

岡本学長からのメッセージ

## 「知恵」を育み成長を

1997(平成9)年の中部学院大学開学以来、学長を務められてきた岡本健学長が2013年3月に退任されます。16年間の大学教育を振り返りながら、大学教育で求められていること、卒業生をはじめ、中部学院大学で「人間福祉」に携わってきた私たちに期待していることなどを聞きました。

## 人生100年は夢ではない

### 老化の不安を解決し、いかに人生を楽しむかが大切

学ぶということは、まず興味を持つことから始まり、そこで疑問を持った時に、どうしたらその疑問を解くことができるかと好奇心を持つことにあります。「人間福祉」というテーマに当てはめると、人間に對してまずヒトとは何か、そして、その人間がどのように一生を過ごすのか、自分自身、家族、また自分の周囲を取り巻く社会の人々に対して、興味や疑問を持つことから始まります。その上で、どうしたら幸福に一生を過ごすことができるのか。たとえ不幸な状態になっても、どう対応するかなど多くの疑問を持ち、どのように解決していくかが大切です。また、大学を卒業した後にも生涯にわたって人について学ぶという姿勢は極めて重要です。

少子高齢化が進む日本の福祉領域において、私たちは避けて通ることができない諸問題が数多くあります。また、東日本大震災を経験し、取り巻く環境に大きく急激な変化が起こることも知りました。しかし、どのような社会的変化に対して、どのように対応していく知恵と努力を備えていけば、立ち向かっていくことができます。また、将来についての予測は今日の情報社会にあつては多くの情報を集めて判断すれば、かなりの確率で将来を判断することができます。

これからの福祉はこれまで行われていた福祉の実態とは変わり、高度な先進技術の応用により、斬新な福祉の在り方が議論されることと予測されます。10年後にどんな変化が待っているのか。さまざまな専門技術を持つ人たちが予測し、知恵や技術を出し合い、これからの福祉を築いていくことが望まれます。大学教育においては、学ばずとも教育する側もお互いに協力し合つてより良い成果をみせる努力が必要です。中部学院大学が目指している「人間の福祉」について、お互いに啓発していける場とネットワークが広がっていくことを望みます。

素養と知恵を身に付け、実践するのが大学教育  
大学教育で求められていることは、  
どのようにお考えですか

大学が開学して最初の入学式で「学ぶということは教科書を讀んで講義を聞いただけの知識を修めることではなく、自分の手で触れてみることで、医療や福祉の現場では、教科書通りにはなかなか進まないことが多く、このよう複雑な問題を解決するには、本を讀んだ知識だけではなく、『知恵』を身に付ける必要があります。その結果は卒業して10年、20年が経って一人前となり、

世の中の役に立つ人となった時に初めて評価されます」ということを強調して伝えました。

本学は現場体験を重視した実習施設とのネットワークが充実しています。普段の学習などによって身に付けた技能や知識といった素養をベースとし、実習では実際に現場を体験する中で、どう対応すべきかを自分で考えることで知恵が育まれ、応用力が培われると思います。

将来を予測し、知恵や技術を出し合う社会を――

これからの将来、卒業生をはじめ、  
中部学院大学で「人間福祉」に携わってきた私たちが  
社会で求められることは何でしょうか、  
また、期待されることは何でしょうか



#### プロフィール

医学博士。産業医科大学医学部教授、国立東京第二病院(現・国立病院機構東京医療センター)院長などを経て、1997(平成9)年より中部学院大学学長。2006(平成18)年瑞宝中授章。岐阜県内においては、「ふるさと福祉村」連絡協議会委員長、県地域福祉協議会議長、県医療審議会委員などを務めている。国立病院東京医療センター名誉院長、産業医科大学名誉教授、日本口腔・咽頭科学会顧問、人間福祉学会理事長ほか。

高い志を持って知識と実践の一体化に励んでください

人間福祉学部長 寺嶋 正己



ご卒業おめでとうございます。達成感と希望に満ちた皆さんの満面の笑顔に接し強い感動を覚えました。そして皆さんと共に慶びのときを持ってたことに感謝し、高い志を持って、明日の日本を背負う皆さんに心からの声援を送ります。社会の中では、常に知識と行動が一体となることが求められます。終生に渉り自己の能力開発と意欲の維持は、万人に共通な命題です。人間福祉をベースに、我国・世界が抱える課題に果敢に挑戦してください。私達も皆さんの挑戦を支援できるよう研鑽に努めます。

後に続く後輩の 良き手本になってください

リハビリテーション学部長 三上 章允



ご卒業おめでとうございます。理学療法士を目指してきた諸君は、最後の関門であった国家試験を終了し、ようやくスタート点に立てました。これからが本番です。患者さん一人一人と向き合い、良き医療スタッフとして今後も知識を積み重ね、技術を磨いてほしいと思います。まもなく後輩たちの実習を指導する立場にもなるでしょう。後に続く後輩たちのためにも、良い仕事をしてもらえるものと期待しています。

誠実な仕事を！

幼児教育学科長 白幡 久美子



ご卒業おめでとうございます。2年前保育者になる希望を抱き入学した皆さんが、保育者としてめざましく成長されたことをとても嬉しく思います。本学科に在籍して、多くの友人と出会い、同じゴールを目指す仲間と互いに刺激しあい、確かな知識と技能を身につけ、保育への探究心も高まりました。数々の実習をこなし、コミュニケーション力もつきました。多くの先輩保育者の仲間入りをして、誠実に経験を重ねつつ、理想の保育者像に向かって行ってください。

「共通語としての介護」を大切に

社会福祉学科長補佐 吉川 杉生



ご卒業おめでとうございます。一人ひとりの顔を思い浮かべると、贈る言葉は一言では足りません。何故なら皆さんとの2年間は、新たな発見と驚きに満ち溢れていたからで、私たちが当たり前と思ったことが出来ない当惑と、常識が覆される新鮮な喜びがありました。その皆さんが他者の人生に関わり、その相手に対して何が必要で何ができるかを「介護」という「共通語」で語り合ったことを忘れないでください。一人ひとりの力が介護の世界を豊かにしていくことを期待しています。

元気よく

大学院研究科長 堅田 明義



元気よく、根気よく、学業を続ければ結果が得られるひとつの証、それが今回の卒業です。ここまでの経過は走馬灯のように次々と浮かび上がってくるでしょう。仲間の多様な生活スタイルや考え方に時にはびっくり、時には共鳴、時には反発の4年間だったかも知れません。自分としてのアイデンティティーを求めながら、同じ学びやで過ごした仲間が終生の仲間になりやすい。またどこかで偶然に出会うこともある先輩、後輩、同輩を大切に、大切にしてください。

未来に翔る

子ども学部長 林 陽子



ご卒業おめでとうございます。夢と希望を両手いっぱい、社会に羽ばたくときがきました。実習で出会った子どもたちや利用者さん方、卒業論文や行事などで励み合ったゼミの友達や学生会の仲間、そして見守ってくださった家族の方々や先生方…。たとえ遠くに離れて暮らしても、未来に翔るあなた方を皆が応援してくれています。誠実に、寛容に、着実に、そして進歩する自分を信じて、自分らしい人生にしてください。学びの森の私たちはいつも応援しています。

志は氣の帥也。ありがとう

経営学部長 今井 春昭



大学・短大のすべての皆さんのご卒業を心からお祝いします。おめでとう！経営学部の皆さんは2期生に当たりますが、文武両面においてその名に恥じぬ気力と活力、そして実力に満ちあふれた素晴らしい集団でした。全学、あるいはキャンパスや学部ごとの様々な企画への学生の積極的な参加という視点からみて、先駆となる足跡を残した学年でした。ありがとう。諸君と共に学ぶことができたことを誇りに思います。大きな志を持ち続ける限り、老いとは無縁の人生が待っています。孟子のこの言葉を添えて諸君の門出を祝福します。

自分に厳しく ひとに優しく

社会福祉学科長・専攻科長 飯尾 良英



ご卒業おめでとうございます。卒業に当たって去来するものは何でしょうか。実習のこと、サークルのこと、友達のこと、アルバイトのこと、家族のこと、就職のこと、色々な経験を積まれたことと思います。その経験があなたの生きる力や人間力に繋がっていきましたか。あなたは「何を得た」と思いますか。掛替えのない友を得たひと、自分を見つめることができたひと、知識や技術を蓄えたひと、それぞれにとって有意義な学生生活であったと思います。これからも自分と向き合っ、周りから「頼りにされる」存在になってください。人生に幸多からんことを祈っています。

# 恩師からのメッセージ

## 希望が湧き出るところ

短期大学部学長 片桐 多恵子



卒業する皆さんに、はなむけの言葉として二つの湖の話を紹介いたします。パレスチナにある二つの湖、死海とガリラヤ湖のあり様は対照的です。死海の水面は地球上で最も低く海面下392メートルのため、北方からのヨルダン川を始め水は流入するだけで流出しません。高気温による蒸発で水が溢れることはありませんが、塩分が非常に多く魚類の生息は不可能です。一方、ガリラヤ湖はヨルダン川の水が北東側から流入し南西側から流出します。浄化されて透明な紺碧の水をたたえた美しい湖には多くの魚が生息し、さらに流れ出た水は地域を潤し作物を实らせています。大学時代に流入した知識や知恵、愛など多くのものを、惜しみなく流出して自分をも周囲をも潤してください。地球規模で日本の未来像を考えながら、枯れることのない希望が湧き出る泉を望みつつ、光の中で人生の旅路を歩んでください。

## 卒業を祝す

大学副学長 小川 克正



長かった学生生活に終止符をうち、いよいよ職業人としての出発です。同じ学院で学んだ仲間との親しみを生涯にわたって保ち続けることを心がけてください。これからの職業人生には、いろんなことが待ち構えています。いいことも沢山あります。予期せぬことも起こります。そんなとき、同じ学院で学び、苦楽をともにした仲間はこよなく有難い存在です。あとにつづく後輩たちのことにも意を用いてください。大学は卒業生と在校生と教職員との大きな共同体です。ご活躍を期待しています。

## 勇躍飛ぶべし

短期大学部副学長 葛谷 昌之



ご卒業おめでとうございます。卒業生のみなさん「希望抱きしめ、虹と咲く」の時が来ました。大学を卒業することは、間違いなく人生の大きな節目の一つであります。節目には、期待と不安、希望と緊張が伴いますが、本学卒業生の自信と誇りを胸に、何事にも知的好奇心に駆動される研究心をもって取り組んでください。それは、問題解決能力はもとより問題発見能力の涵養に繋がるからです。そして「笑顔と挨拶」を旨として、悟性と感性を磨きつつ、自己洗練に努めてください。社会は他人が評価する世界だからです。どうか、それぞれの道で母校を心の錦とし、大いにご活躍されんことを心から願っております。そして願わくは、将来、母校に光彩を添えて戴けるよう、みなさんの感奮興起を期待しています。

# 卒業生座談会



就職を決めて卒業を控えた皆さんに、大学生活での思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんに向けてのメッセージを聞きました。

卒業生座談会 参加者  
(写真左から)

人間福祉学部 人間福祉学科  
千嶋加奈さん(ちしま かな) 精神保健福祉士・社会福祉士  
短期大学部 専攻科  
久木富久子さん(ひさき ぶくこ) 生活支援員  
短期大学部 幼児教育学科  
西 由季さん(にし ゆき) 幼稚園教諭  
経営学部 経営学科  
宮内麻衣さん(みやうち まい) 銀行員

リハビリテーション学部 理学療法学科  
三輪哲也さん(みわて つや) 理学療法士  
子ども学部 子ども学科  
岩井桃子さん(いらい ももこ) 小学校教諭  
短期大学部 社会福祉学科  
北村沙織さん(きたむら さおり) 介護福祉士

## 資格取得に向けて仲間と切磋琢磨 実習を通じて、現場で感動を体験

— 大学生活を振り返って頑張ってきたこと、印象に残っていることは

**三輪** 理学療法士合格に向けて、実習と勉強に力を注ぎました。大学での勉強量は想像以上に、実習では教科書通りにはいかないことばかりでしたが、同じ目標を持った仲間と切磋琢磨し、今日まで来ることができました。

**千嶋** 私も社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取ることが目指してきました。心が折れそうになった時には、仲間と励まし合ったり、教え合ったりして、良きライバルとして、充実した時間を過ごせました。

**西** 実習を通じた学びが一番印象に残っています。子ども一人一人に特性があり、関わり方で悩むこともありましたが、子どもの内面の気持ちを理解して信頼関係を築くことで、園児に思いが伝わることを学びました。

**北村** 私も実習での体験が忘れられません。特別養護老え方に触れることが大切だと思えます。

**千嶋** 国家試験を乗り切るには、教え合える仲間の存在が大切だと感じました。また、ボランティアやアルバイトなど、少し勉強から離れたところでも学ぶ機会が多いので、興味を広げて、充実した学生生活を過ごしてほしいです。

**岩井** 私も、ボランティアには積極的に活動したほうが良いと思います。大学では授業で基礎の学力を身に付けたり、採用試験に向けて先生の指導を受けたりしましたが、それ以外では特別支援学校でボランティアとして携わりました。現場でしか学べないことがたくさんあり、充実した時間でした。

**西** 幼児教育学科も子どもと関わる機会が本当に多くあります。学ぶ意欲があったら、ぜひ自分からイベントやボランティアに積極的に参加することを勧めます。また、保育士と幼稚園教諭に加えてほかにもいろいろな資格が取れるので、積極的にチャレンジしてみてください。

**三輪** 理学療法学科は実習が多くありますが、本場に役立つ

人ホームで、日ごろ職員の方がありお話しされていない利用者さんへの声掛けを意識しました。「あなただったら信じられるよ」という言葉が今でも励みになっています。

**久木** 昨年10月に行われた「ぎふ清流大会」で選手団の一員として参加しましたが、選手の方々がひたむきに頑張っている姿を目の当たりにして感動しました。人を引きこむ力があることを感じ、とても思い出に残っています。

**岩井** 一番の思い出はプロムナードコンサートでオペレッタの主演を務めたことです。全身を使って自分を表現することで、相手に感動が伝わることを実感しました。また、みんなで一つの舞台を作り上げていく達成感もありました。

**宮内** 有志が集まり、学びの森フェスティバルでホットドッグの模擬店を出しました。4年間で学んだことを最大限に生かし、原価計算をして利益を考えたり、売るための広報戦略を立てたりして、

ことばかりです。患者さんの笑顔を見てうれしいと思うのは就職してからも変わらないと思います。実習では、将来受け持つ患者さんのためになると思って取り組んでほしいです。つらいときはみんなで助け合って乗り越えましょう。

**北村** 後輩から「私が介護福祉士を目指しているのかなあ」と相談をよく受けますが、いつもと違った視点で物事をとらえると、利用者の方への目線が変わったり、将来の夢の展望が開けてきたり、これまでと違った見方ができます。せっかくの縁で一緒になった仲間と励まし合いたい、素敵な学生生活を送ってほしいと思います。



実践の中で経営の学習ができたことに満足しています。

## 利用者や患者、子どもに寄り添いたい 生活の中で一緒に学び、成長していきたい

— 就職に向けての抱負は

**岩井** 子ども学部は小学校教諭、幼稚園教諭、保育士を目指しますが、小学校からのあこがれだった小学校教諭になることができました。一人一人の子どもの特性を伸ばしながら、子どもの気持ちに寄り添える先生を目指したいです。

**西** 私も子どもの気持ちをしっかりと理解できる保育者になりたいです。足りないこと、分からないことも多く出てくると思いますが、先輩をはじめ、子どもたちとの生活の中から学び、一緒に成長していきたいです。

**千嶋** 精神保健福祉士として地元の病院に勤務しますが、地域によっては精神障がいへの偏見があるところもまだあります。私たちにはない強さを持つている方々も多く、真の姿

を理解してもらえようように活動していきたいです。また、少しの変化で精神的に不安定になる人の支えになりたいです。

**久木** 滋賀県にある施設で、重症心身障がい者の生活支援員になりますが、保育士と介護福祉士の資格を生かしていきたいです。利用者の方々が何を発信しているのかをしっかりと待ってくみ取り、その心の動きに自分の心を合わせて接していきたいと思えます。

**北村** 父が入院して介護を手伝うようになり、専門的に学びたいと思い、2年間勉強してきました。現場では看護師と連携しながら安心できる介護を実践して、いつか子どもからお暮らせるような施設を作りたいです。

**宮内** インターンシップで銀行を訪れた時に、指導してくださった担当の女性行員の方が周りの人に信頼されながら働いている姿を見て感動したのが行員を目指したきっかけです。頼られる女性を目指して経験を積み重ねていきたいです。

**三輪** 中部学院大学の先生

## 多くの人と触れて 自分の考えを深めよう 仲間と励まし合い、 充実したキャンパス ライフを

— 後輩に向けてのメッセージを

**宮内** 就職活動では自分どの道に進むべきか迷うこともありましたが、先生方や社会人の方とお話する中で、的確なアドバイスをいただき、進むべき道を導いてくださいました。多くの方と交流して見識を深められると良いのではないかと思います。

**久木** 専攻科の就職先は子どもから高齢者の施設まで幅広いですが、人と関わる仕事だからこそ、知識だけでは補えない「人間性」が求められます。在学中に、相手の意見を取り入れる柔軟性や、いろいろな人の考

# 中部学院大学で夢の実現を!

中部学院大学では初年次教育に力を入れ、入学時から新しい環境に適応できるサポート体制をとっています。

中部学院大学短期大学部は「2年間で『自分』を実現させる」をキャッチフレーズに、「人間が育つ」キャンパスで今を歩んでいます。

## 短期大学部

### — 短期大学部の2年間 — 「人間が育つ」キャンパス

短期大学の2年はとても濃密な時で、学生が取得する単位数は大学のはほぼ3年間に匹敵します。2年先のゴールを近くに展望できるという特長もあり、学生は目標を目指して力を尽くすことができます。また、本学は「人間が育つキャンパス」です。教職員と学生が互いに尊重し合う関係を基礎にしながら、学生一人一人に心を傾けながら教育にあたっています。全学科・全学年とも10~20人のゼミナールを中心に、実習指導、キャリア・ガイダンスを含めて、きめ細かい学生指導を行っています。そのため、教員は月2回の学科会議で学生の動向を分かち合い、一人一人のニーズに応えることができるように努めています。



### 「ゆりかごから天国まで」を展望

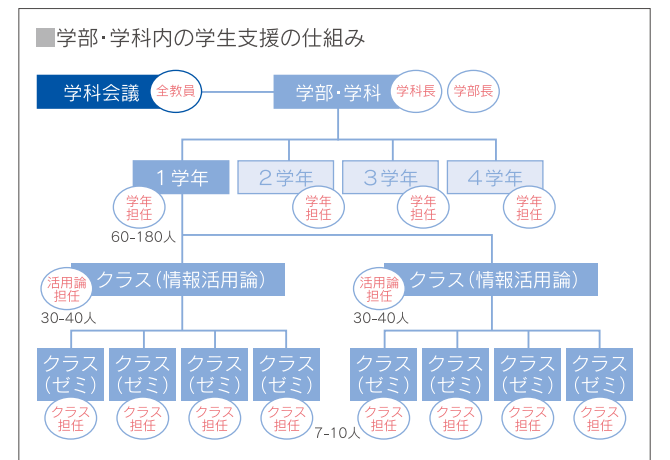
全世代にいきわたる手厚い政策を「ゆりかごから墓場まで」と表現しますが、本学は「ゆりかごから天国まで」を展望した教育機関と言えます。保育者を育成している幼児教育学科、高齢者を介護する介護福祉士を養成している社会福祉学科と専攻科を有しています。本学はキリスト教主義に立つ「建学の精神」を掲げており、「天国まで」を加えることができるといえます。

本学の建学の精神「神を畏れることは知識のはじめである」は、聖書によると、神は私たち人間と自然界を造られ、すべての人間を、尊厳を有する者として造られたとされています。私たちは自らを神が造られた尊い存在として肯定すると同時に、すべての他者を大切な存在として敬愛する、いわば「自尊」と「他尊」ということが導かれます。

## 大学

### — 初年次教育の充実 — 大学の学習環境に早く慣れてもらうために

本学では、「顔の見える、きめ細かな学生育て」を基本として、実習を中心とした実践を重視した教育を通して、一人一人の夢を叶える教育を行っています。高校までは「生徒」と呼ばれていた諸君も、大学では「学生」と呼ばれ、自ら進んで学業を修める姿勢がないと取り残されます。受講する科目は自ら選択し、受講者のクラスは講義毎に変わります。自宅から離れて一人暮らしする学生も多くなり、自らの生活管理を自己責任で行う必要があります。この新しい環境にできるだけ早く適応し、学習の成果を上げてもらうためのサポートが初年次教育です。



### ■ 少人数クラス(ゼミ)での演習

- 学部に入學した学生諸君は、7~10人前後の少人数クラス(ゼミ)に分かれます。
- 新入生には入學動機を書いてもらい、入學した学部とのミスマッチがないかを確認します。
- 大学の講義についていくため、例えばノートの取り方、レポートの書き方、資料の集め方などの基本技能を学びます。
- 科目ごとに学生の学力の確認を行い、講義について行けない学生の早期発見と支援に努めます。

### ■ 「情報活用論」(実習科目)との連携

- 「情報活用論」は、1クラス30~40人の少人数で、学習に不可欠な資料収集、資料整理、プレゼンテーションなどを学びます。
- ゼミの担任と連携して、学生生活の基本技能の習得度合を把握し、ゼミの課題に必要な技術指導も行います。
- コンピュータの使用法を学ぶ中で学生の本音を引き出し、課題のある学生の把握に努めます。

### ■ 学年担任による継続した学生支援

- 入学から卒業まで同じ学年担任が持ち上がることにより、学生との緊密な関係を保ちながら、継続して学生の相談にのります。

## 地域で人間が育つ環境



地域にある保育園などに出向き、さまざまなあそびを通じて保育を実践する学生=各務原市、川島保育園

「地域」を大切に考えており、ゼミナール活動や実習、学外研修を通して地域にどんどん出て行きます。キャンパスのある関市や各務原市、その近隣地域だけではなく、さまざまな交流を持つ県内の各地域をはじめ、国内や海外との交流も図っています。多彩なサークルや個人によるボランティア活動も盛んで、地元へ広がる実習網は随一と自負しています。

## 毎年継続する「就職率100%」

全学的なキャリア教育は入学直後から始まり、1年次からさまざまな就職セミナーに参加することが奨励されます。本学の一番の特徴は、日ごろの学習と実習が有機的に結びついており、実習が就職に直結していることです。学生は2年間で「なりたい自分」像を形成し、教員、キャリア支援センターと緊密に連絡する



卒業生から就職活動の心構えを聞く「仕事と人生」より

ことで、全学科が「就職率100%」を達成しています。(幼児教育学科は10年連続、社会福祉学科は9年連続、専攻科は統計を取り始めてから12年連続)

## キャリア支援の取り組み

学生は自分の目標がはっきりしてくると、その夢に向かって努力するものです。卒業後の仕事について考える機会をできるだけ早くから設定することにより、学習へのモチベーションを高めることが大切であると考えています。

入学時に全員の学生に対して職業適性検査を実施し、学生の自己分析や学生指導に利用しています。全員に個別面談(学生1人につき年間平均15回)を実施するとともに、学生一人一人の志望や適性を把握し、それに合わせた支援を行っています。本学的主要な取り組みには、科目「仕事と人生」や各種就職、仕事相談会、履歴書セミナー、キャリア進路相談、模擬面接、自己探求講座、文章力アップ講座、インターンシップなどがあります。

## 実践(実習)の重視 「分かる」から「できる」に



充実した授業と、実習や海外研修を通じて応用力を養っています=リハビリテーション学部の授業より

講義を受動的に聞くだけではなかなか身に付かない内容も、自ら体験することによって自分のものとすることができます。本学はそうした実践(実習)を重視しています。

学内では現場での経験豊富な教員の指導を通じて、学外では多くの現場での体験実習を通して、「分かる」から「できる」ようにしています。主な実習と海外交流活動には、科目としての実習(学内実習、学外実習)、インターンシップ、プロムナードコンサート、ボランティア活動、海外研修(ロンドン、フィリピン、デンマーク、韓国)などがあります。

# 部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



## 子育てボランティア 県内各地で活動

ラ・ルーラファクトリーは2011年にボランティアサークルとして発足しました。各務原キャンパスに子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」が開設された



岐阜市青少年育成市民会議の子育て講座で、子どもたちとさまざまなあそびと一緒に体験する学生ら＝岐阜市芥見、市東部コミュニティーセンター

2006年当初から、ラ・ルーラで催されるさまざまな行事を積極的に手伝ってくれていた学生たちが立ち上げたサークルです。ボランティアサークルとして形にし、ラ・ルーラファクトリーという命名もその当時の学生たちが決めました。「ラ・ルーラから何かを創り出していく。みんなで創っていく。発信していく」という意味が込められています。ボランティアサークルとして歩み出してから早3年。ラ・ルーラでのボランティアが中心だった活動も今では学外の活動も増え、さまざまなお声かけをいただけるようになりました。各務原市子育て支援課・都市戦略課・中央図書館・子ども館、各務原市商工会議所、各務原市社会福祉協議会、美濃加茂市社会福祉協議会、多治見市子ども情報センター、川辺町商工会などからは継続的にボランティアの依頼を受け、地域の方々との交流も増えました。

そんな活動を重ねる中で、この頃では各務原市社会福祉協議会からは「乳幼児の催しボランティアは、まずラ・ルーラファクトリーに」と絶大な信頼もいただき励みになっています。また、今年度は羽島郡岐南町で開催された「ぎなんフェスタ&全国ねぎサミット2012」にも参加しました。ボラン



ラ・ルーラファクトリーのメンバー

ティア活動は、サークルの仲間以外の学生もいろいろな形で呼び込み、活動の幅も広がってきています。これからも自分たちの活動におごることなく、さまざまな活動や場所でのいろいろな経験をさせていってほしいと思います。また、先輩たちの熱い思いをしっかりと引き継ぎながら、自分たちにしかできない細やかな活動していきたいと考えています。サークル活動が順調に進んできたのも、日ごろから応援していただいている教職員の皆様、地域の方々の温かいまなざしとご指導のおかげと心にとめ、これからも活動していきます。

(ラ・ルーラファクトリー 顧問・金田環)

### 女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は、2012年度の目標を「全日本学生選手権大会出場」と定め、練習に励んできました。東海地区の代表権は、秋季リーグ戦で4位以内に入賞しないと出場できません。1位愛知学泉大学、2位桜花学園大学には一歩及びませんでした。3位の中京大学とは1勝1敗、5位以下には大差をつけて勝つことができました。得失点差の結果4位で全日本学生選手権大会への出場となりました。



2年連続インカレ出場を果たした女子バスケットボール部

押し込まれてしまいましたが、優勝候補にも十分戦える実感をつかむことのできた大会となりました。日々応援していただいている教職員の皆様、保護者の皆様のおかげだと感じ、選手・スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。

### 手話サークル

本学手話サークルは、手話を習得するために、地元の方々を講師に招き、生きた手話を学習しています。そして、在学生に2名のろう学生が在籍しており、日常の中で当たり前に手話を話す環境



手話サークルのメンバー

にあることで、サークルメンバーは自然と手話を身につけることができます。サークルの活動は、ただ手話を勉強するだけでなく、県内外の聴覚障害者イベントへ積極的に参加し、多くのろう者や手話を学んでいる聴者と関わり、手話を学ぶ仲間の輪を広げる活動も行っています。そして、中部手話スピーチコンテストの運営や中学校、高等学校へ出向いての手話指導などを通して、手話の普及にも努めています。その活動が評価され、毎年、国際ソロプチミストより支援を受けています。

### 2012年度 学長賞 被表彰者一覧

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
松葉 美里 (人間福祉4年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
長尾 かおり (健康福祉4年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
徐 天楽 (健康福祉4年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
中谷 圭佑 (子ども4年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
岩崎 拓也 (理学療法4年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
二上 茂弘 (経営4年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
大和 千秋 (子ども4年)	3	西日本インカレ10,000m競歩 第4位 東海陸上競技大会50,000m競歩 第4位
尾上 雄基 (健康福祉4年)	3	MTR HONG KONG RACE WALKING 第2位 東海陸上競技大会50,000m競歩 第6位
松崎 いぶき (健康福祉4年)	3	東海学生弓道大会3年連続入賞
女子バスケットボール部	3	全日本大学バスケットボール選手権出場
茅谷 由希子 (健康福祉3年)	3	東海学生バスケットボール1部リーグ優秀選手賞・得点王・リバウンド王受賞 U-22代表候補
中原 舞 (健康福祉2年)	3	MTR HONG KONG RACE WALKING 第4位 東海陸上競技大会50,000m競歩 第5位
瀬戸山 大雅 (経営1年)	3	大学対抗簿記大会1級の部 団体優勝

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
平野 睦 (社会福祉2年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
日比野 沙紀 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている
加藤 彩 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で、人格識見が特に優れている

同窓会新評議員の紹介	
本年度卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。	
大学同窓会	短期大学部同窓会
人間福祉学科 奥田 真生	幼児教育学科 岩井 菜月
健康福祉学科 石神 信行	村上 綾菜
子ども学科 餌取 恭平	小川 実紗希
理学療法学科 橋本 智子	市川 麻矢
経営学科 山本 哲史	専攻科 今井 彩乃

### 2012年度 同窓会長賞 被表彰者一覧

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
学生会役員会 郷間 光正 (理学療法3年) 加納 春之 (子ども3年) 伊藤 瑞穂 (健康福祉3年) 宮垣 貴之 (健康福祉3年) 粥川 謙斗 (健康福祉3年) 高尾 幸佑 (理学療法2年) 池田 絵美 (理学療法2年)	1	新生学生会の会長をはじめとして役員を担い、学生会活動の活性化に貢献
大学祭実行委員会 森 香織 (人間福祉4年) 山下 菜摘 (人間福祉4年) 野村 有美香 (人間福祉2年)	1	委員会役員として積極的に活動し、大学祭等を盛んに導く
佐藤 あいり (健康福祉4年) 牧野 竣祐 (健康福祉4年)	2	ノートテイカーとして聴覚障害学生をサポート
栗虫 沙羅 (子ども2年) 小酒井 杏奈 (子ども1年)	2	大学ネットワークコンソーシアムにおいて、優れた研究報告を行った(ベストプレゼンテーション受賞)
林 美幸 (健康福祉4年)	3	手話サークルとして式典等で通訳、高校生への手話指導。ノートテイカーとしてボランティア
サ ゼンイ (健康福祉4年)	3	岐阜県内外外国人留学生弁論大会準優勝
大沼 毅 (健康福祉4年)	3	岐阜県リーグ連覇、秋季東海大会優勝に貢献
石神 信行 (健康福祉4年)	3	東海バスケットボール1部リーグ優秀選手賞受賞
周防 まい子 (健康福祉3年) 松尾 知奈美 (理学療法1年)	3	ぎふ清流国体サッカー競技女子の部3位に貢献
角 紗織 (子ども3年) 汲田 麻衣 (経営1年)	3	東海学生弓道選手権大会女子団体戦3位

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
学生会役員会 橋場 悦子 (健康福祉2年) 石坂 孝明 (社会福祉1年)	1	新生学生会の副会長をはじめとして役員を担い、学生会活動の活性化に貢献
石田 晶子 (社会福祉2年) 加藤 真友子 (社会福祉2年) 木下 麻美 (社会福祉2年) 原 良明 (社会福祉2年) 二村 友希 (幼児教育2年) 吉田 有沙 (幼児教育2年)	2	ノートテイカーとして聴覚障害学生をサポート
ハンドベルクワイア	3	年間を通し学内外で様々な演奏活動を展開

## 講演会

市民公開講座をはじめ、各種セミナーなど、各界で活躍する先生を講師に招いて、講義を行っています。

### リハビリテーション学部3教授らが講演

リハビリテーション学部「市民公開講座」

### 「健やかに生きる」

リハビリテーション学部理学療法学科の市民公開講座「健やかに生きる」を10月22日、各務原キャンパスで行いました。これまでの研究成果を市民に知ってもらおうと開いており、今年が2回目。講演は、理学療法学科長の山崎節子教授が「高齢者の健康維持に必要なもの」、鶴飼建志准教授が「腰痛予防の工夫」、三上章允教授が「意識はどこにあるー脳の中のこびと」と題して講演。参加者はデモンストレーションやストレッチなどの実演を受けながら、健康維持や老化防止への意識を高めていました。



### 京都大学霊長類研究所所長 松沢哲郎 本学客員教授が講演

中部学院大学公開講座「比較認知発達論」

### 「模倣と想像」

「比較認知発達論」の公開講座を1月10日、各務原キャンパスで開催しました。京都大学霊長類研究所教授で本学客員教授の松沢哲郎先生が「模倣と想像」と題して講演。ヒト科が進化してきた過程を紹介しながら、「『まねる』という行為はヒト以外ではきわめてまれであり、ヒトは同じ経験をして『相手の心がわかる』ことにつながっています」と話しました。また、「チンパンジーは、いま目の前にあるものに関心がありますが、ヒトは未来を予測し、目の前にないものにも思いをはせることができます」と語りました。



岡本健大学学長の任期満了に伴い、新学長に、元岐阜大学副学長で放送大学岐阜学習センター所長の古田善伯氏が就任します。任期は4月1日から3年間。古田氏は1970年に東京教育大学体育学部卒業、72年に同大学院体育学研究科修士課程を修了、89年に医学博士。岐阜大学教授、同大副学長などを歴任し、2010年から同センター長。古田氏は「学生の満足度を高め、社会で活躍できる人材を輩出し、地域社会と共生していく大学を目指したい」と話しています。



新学長に  
古田善伯氏

### 2013年度 年間行事予定

- 入学式(各務原市民会館) 4/3(水)
- オリエンテーション 4/1(月)・2(火)・4(木)・5(金)
- 前期授業開始 4/8(日)
- 開学記念日(通常授業) 5/14(火)
- 社会福祉学科 新入生宿泊研修(白川村) 5/15(水)・16(木)
- 幼児教育学科 新入生宿泊研修(白川村) 5/21(火)・22(水)
- スポーツ大会 5/25(土)
- 後援会総会・保護者懇談会(各務原) 6/1(土)
- 前期定期試験 7/29(日)・8/12(日)
- 後期授業開始 9/20(金)
- たしめん祭(大学祭 ホームカミングデー) 10/19(土)
- 学びの森フェスティバル(各務原) 11/2(土)
- 中部手話スピーチコンテスト(各務原) 11/16(土)
- プロムナードコンサート(各務原市民会館) 11/30(土)
- クリスマス礼拝(祝会) 12/19(木)
- 年内授業最終日 12/26(木)
- 年始授業開始日 1/6(月)
- 大学入試センター試験(前) 1/18(土)・19(日)
- 後期定期試験(後) 1/27(日)・28(月)
- 卒業認定発表 3/7(金)
- 進級認定発表 3/14(金)
- 卒業式(長良川国際会議場) 3/21(祝)・22(金)
- 卒業式(長良川国際会議場) 3/22(土)

(※学科により異なる)

## トピックス

各学部学科では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げているなど、積極的に活動しています。

### 「介護の日」学生が啓発活動 JR岐阜駅、柳ヶ瀬などでバラを贈る運動を展開

11月11日の「介護の日」に合わせて、人間福祉学部介護支援コース、短期大学部社会福祉学科、同専攻科の学生や教職員らが啓発活動を行いました。介護をしている方に感謝の意を伝えようと、学生が主体となって介護者にバラの花を贈る運動を展開しています。11月10日には、学生ら約90人はJR岐阜駅や岐阜市の柳ヶ瀬わくわくステージなどでバラの花を贈るなど、介護の日をPRしました。また、柳ヶ瀬では、介護の日コンサートも開催。和太鼓や合唱をはじめ、音楽療法の体験講座やミュージシャンによる生演奏が繰り広げられました。福祉・介護の相談室「神田町サロン」でも啓発活動を展開しました。



### 合唱ミュージカルや演奏で表現 プロムナードコンサート ステージで開花

子ども学科と幼児教育学科の学生らによる合唱や合奏、ミュージカルの舞台「プロムナードコンサート2012」を11月24日、関市文化会館で開催しました。各学科で開講している「総合表現活動」の一環。保育士、幼稚園や小学校の教諭などを目指す学生に表現力を身につけるのが目的です。今回のテーマは「おんがくのメリーゴーランド」。第1部では、「器楽による表現」として、ハンドベルとマリimbaをそれぞれ演奏。第2部は「歌と動きによる表現」として、パフォーマンスや合唱を、第3部では、合唱ミュージカルによる表現として、ふしぎの国のアリス〜ルイス・キャロルの童話から〜を披露しました。



### 受験した4人が公認会計士に合格 経営学部1年の渡邊さん 今回の最年少合格

昨年8月に行われた公認会計士試験(論文式)で、経営学部ならびに各務原シティカレッジ「会計プロフェッショナルコース」の4人が合格を果たしました。合格した4人のうち、渡邊孝江さん、瀬戸山大雅さん(ともに経営学部1年)は10代で合格を勝ち取りました。



### 小豆畑眞也選手 阪神4位指名 母校を訪れ、指名の喜びを伝える

昨年3月に経営学部を卒業し、西濃運輸硬式野球部でプレーしていた小豆畑眞也(あずはた)選手が、同10月のプロ野球ドラフト会議で阪神タイガースから4位指名を受けました。本学からプロ野球選手が誕生するのは初めて。指名翌日には関キャンパスを訪れ、恩師や後輩らに喜びの報告をしました。







[ 関 キャンパス ] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211  
[ 各務原キャンパス ] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[ 大 学 院 ] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程後期  
[ 大 学 ] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(福祉専攻/心理専攻) 健康福祉学科(スポーツ専攻/マネジメント専攻)  
◆リハビリテーション学部理学療法学科 ◆子ども学部 子ども学科(子ども教育コース/保育・子育て支援コース/発達支援コース) ◆経営学部 経営学科(マネジメントコース/まちづくり地域人養成コース/スポーツマネジメントコース/職業会計人コース) ◆通信教育部/人間福祉学部 人間福祉学科  
[ 短期大学部 ] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(認知症ケアコース/介護予防コース/地域生活支援コース) ◆専攻科(福祉専攻)

※コースは変更する場合あり